

ウルトラ建設探訪記

vol.04

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第28話「700キロを突っ走れ！」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

©円谷プロ

あの時の未来

明治天皇の事績を伝え残す
「神宮外苑の象徴」

ラリーのスタートシーンが撮影されたと言われる「聖徳記念絵画館」（東京都新宿区）は、1926年に建てられた美術館。幕末から明治にかけての動乱期を生き抜いた明治天皇の事績の数々を描いた80枚の絵画を展示している。建物は、外壁に岡山県産の花崗岩を用いた鉄筋コンクリート造の洋風建築で、戦時中の空襲を免れ、約100年前の姿を現在もとどめている。その直線的なデザインと初期の美術館建築である点が評価され、2011年には重要文化財に指定された。



提供：聖徳記念絵画館

セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第28話「700キロを突っ走れ！」は、新開発の火薬「スパイナー」を実験場に送り届けるため、モロボシ・ダンらが火薬を積んだ車でラリー大会に参加、しかしそれを阻止しようとするキル星人が現れ、様々な妨害を受ける…という筋書き。ダンとともに車に乗り込んだアマギ隊員は、子どもの頃に目撃した事故の影響で爆発に対してトラウマを抱いていたが、任務と向き合うなかで徐々に克服、危険なミッションを成し遂げる。ダン（＝セブン）は、そんなアマギとの共同任務、対話を通じて地球人の芯の強さを見出していく…というエピソードとなっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>